



第2期豊橋市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

— 第6次豊橋市総合計画 抜粋 —

豊橋市

目次

序論

I. 総合計画とは	5
II. 豊橋市の概要	7
III. 今後の見通し	13
IV. 社会潮流と基本認識	22

基本構想

I. 基本構想策定の趣旨	29
II. まちづくりの基本理念	30
III. 目指すまちの姿	31
IV. 基本構想実現のために	35

基本計画

I. 基本計画策定の趣旨	39
II. 都市空間形成の考え方	40
III. 分野別計画	43
1. 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち	47
2. 活力みなぎり、はつらつと働けるまち	61
3. 命の安全、心の安心が確保されたまち	71
4. みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち	81
5. 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち	95
6. 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち	109
7. 自然と共生し、地球環境を大切にするまち	119
8. 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち	129
IV. まちづくり戦略（第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略）	141
1. 活力みなぎる『しごとづくり』	148
2. 選ばれ集う『ひとの流れづくり』	150
3. 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』	152
4. 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』	154
V. 基本計画推進のために	156

附属資料

I. 策定体制	161
II. 会議等の開催経緯	170
III. SDGs とは	172
IV. 用語説明	176

IV. まちづくり戦略(第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

まちづくり戦略は、本市の最重要課題ともいえる人口減少対策に、分野横断的に取り組むため、4つの「個別戦略」を掲げ、個別戦略ごとに重点的かつ戦略的に推進する「数値目標」や「施策の基本方針」を明らかにするものです。

本市では、2015（平成27）年に、長期的な人口見通しから将来を展望する豊橋市人口ビジョンと、本ビジョンでの課題認識や将来展望を踏まえた総合的な人口減少対策となる豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、これまで本市の創生に資する取り組みを総合的に推進してきました。

豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、2020（令和2）年度をもって計画期間が終了しますが、本市の人口は、依然として減少傾向であり、大変厳しい状況が続いています。こうしたことを鑑み、取り組みの効果を高めるとともに新たな事業の立案にも積極的に取り組み、さらなる人口減少対策を推進するため、目的を同じくするまちづくり戦略と第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定します。

※社会情勢等を鑑み、計画期間の途中であっても数値目標や重要業績評価指標（KPI）等を見直す場合があります。

序論
基本構想
1 子育て・教育
2 産業
3 安全・安心
4 健康・医療・福祉
5 文化・スポーツ・共生
6 にぎわい
7 環境
8 都市基盤
戦略
附属資料

○まちづくり戦略の力点と共通認識

本市では、2015（平成27）年度に策定した豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略で5つの個別戦略を掲げ、人口減少社会への対応の観点からさまざまな取り組みを推進してきました。総人口の減少傾向に大きな変化はないものの、出生率の低迷や若者の流出がこのまま続けば、人口減少のさらなる加速化が予想されることから、一層の対策強化が必要となります。

こうした中、総務省が公表した人口移動報告では、2020（令和2）年5月、東京都の社会増減数が転出超過となり、2013（平成25）年7月に外国人を加えた現在の調査方法となって以来、初めてのこととなりました。

新型コロナウイルス感染症が社会に与えた影響は極めて大きく、人々の居住に関する意識や価値観にも変化をもたらし、ICTなどの進展も相まって、住む場所に捉われない働き方も徐々に浸透するなど、大都市圏からの人の流れづくりを目指す地方にとって追い風となる一面も見られています。

人口の減少は、都市の持続可能性を脅かす重要課題であるとの認識のもと、その解決に向け、出生率の上昇や人口の社会増加を目指します。ついては、まちづくり戦略において、未来の豊橋を見据える中で、人口減少対策の特に重要な要素と考える「若者」及び「女性」に力点を置くとともに次のことを共通認識とし、将来に向かって人口減少に歯止めをかけるための、さまざまな施策を実施します。

多様な人材の活躍を推進する

- ・誰もが明るい未来を描き生きる喜びを実感できる地域社会を形成します。
- ・就労を望む誰もが働き続けることができる環境づくりを進めます。

新しい時代の流れを力にする

- ・Society5.0を推進して社会システムを発展させます。
- ・SDGsを推進して持続可能で多様性と包摂性のある社会をつくります。

新しい生活様式に適応する

- ・コロナ禍でも社会経済活動を可能とするテレワーク等を普及させます。
- ・地方都市ならではの安全・安心でゆとりのある暮らしを提供します。

○まちづくり戦略の構造

“若者”
“女性”
に力点を置く

将来に向かって『人口減少に歯止め』をかける

1 活力みなぎる『しごとづくり』

<特に注力！>

- ✓豊橋で“若者”や“女性”が働きたくなる仕事の創出
- ✓豊橋が誇る技術の伝承と新しい技術の導入

(施策の基本方針)

1. 人材力の強化と事業承継への支援
2. 新ビジネスの創出と経営革新
3. 産業の魅力発信と誘致

2 選ばれ集う『ひとの流れづくり』

<特に注力！>

- ✓若い世代を惹きつけるまちの魅力創造
- ✓まちなかエリアへの人の呼び込み

(施策の基本方針)

1. 定住都市の推進
2. 交流・関係人口の拡大
3. 移住の促進

3 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』

<特に注力！>

- ✓子育てと仕事を両立できる環境づくり
- ✓子どもたちの「学びたい」をかなえるための環境づくり

(施策の基本方針)

1. 結婚から出産、子育てまでの包括的支援
2. 働きながら子育てできる環境づくり
3. 質の高い教育

4 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

<特に注力！>

- ✓利便性の高い移動環境の創出
- ✓再生可能エネルギー利用100%のまちづくり

(施策の基本方針)

1. 便利で快適に暮らせるまちの形成
2. 既存ストックの有効活用
3. 暮らしの安全・安心の確保
4. 自立循環型社会の形成

〈共通認識〉

多様な人材の活躍を推進する

新しい時代の流れを力にする

新しい生活様式に適應する

序論

基本構想

1 子育て・教育

2 産業

3 安全・安心

4 健康・医療・福祉

5 文化・スポーツ・共生

6 にぎわい

7 環境

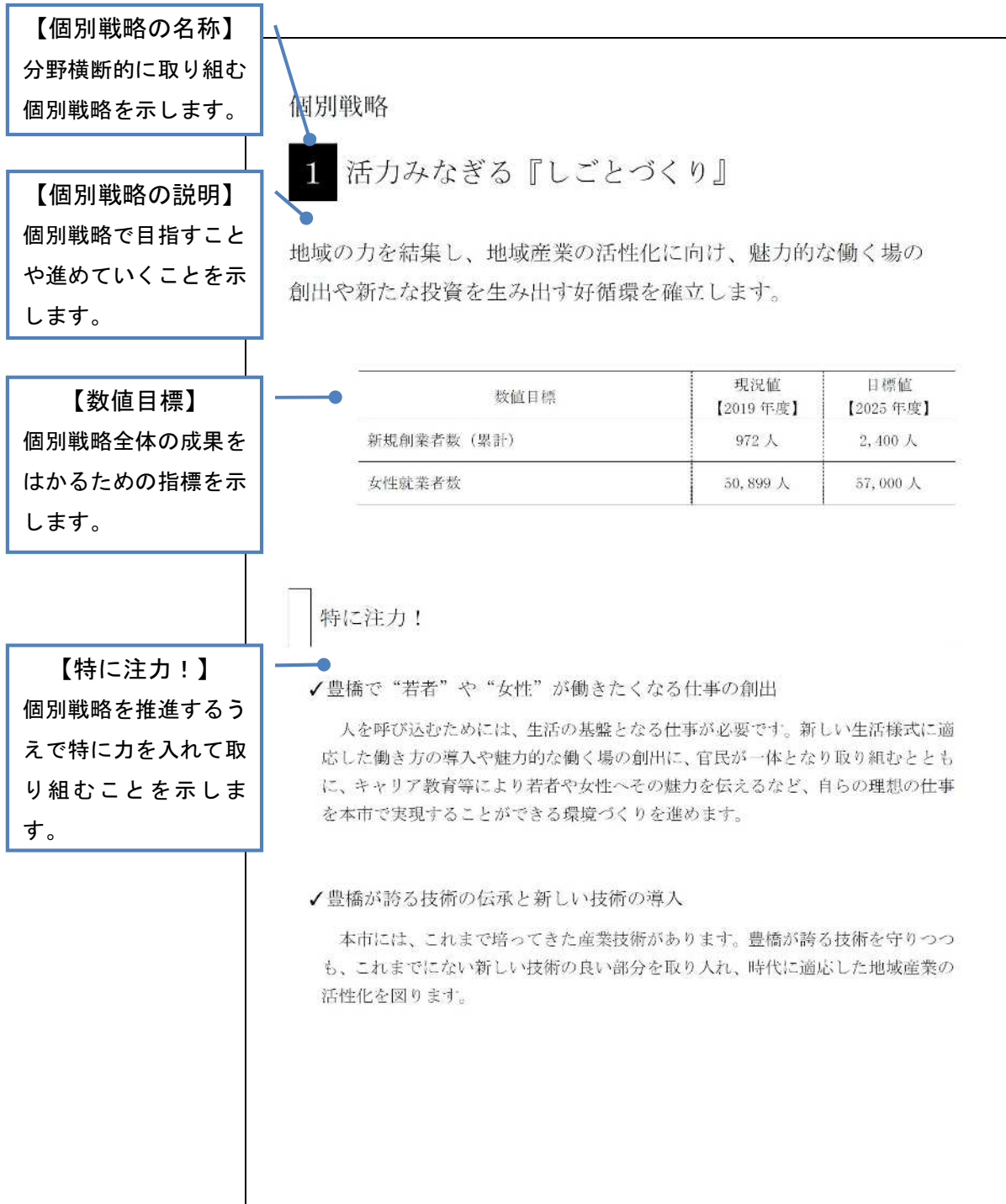
8 都市基盤

戦略

附属資料

基本計画

まちづくり戦略（個別戦略）の見方



施策の基本方針

1. 人材力の強化と事業承継への支援

全国有数の産出額を誇る農業や高い技術力を持つものづくり企業など、地域特性を生かした産業の活性化を担う人材の育成と、これらの産業の成長を一層促すための地域外人材の知見等を積極的に活用するとともに、これまで地域に蓄積された技術・ノウハウなどの経営資源が承継できる環境づくりを支援します。

2. 新ビジネスの創出と経営革新

大学の研究シーズや企業が有するノウハウ等を連携させてイノベーションを誘発するとともに、そこから新たなビジネスが創出されるよう支援します。また、地域の中堅・中小企業による生産性向上に資する取り組みを促進するほか、企業BCP対策や健康経営の取り組みを支援します。

3. 産業の魅力発信と誘致

産業用地や道路、港湾などの産業基盤の整備を進めるとともに、積極的な企業誘致活動を行います。また、若者や女性などの多様な人材がさまざまな産業で活躍できる雇用機会を創出するとともに、その魅力を発信します。

【施策の基本方針】

個別戦略を推進するための施策の基本方針とその説明を示します。

重要業績評価指標 (KPI)	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
就職支援を行った若年者の数	538人	1,000人
新たなビジネスモデル創出に関する事業への参加者数	13,548人	15,000人
産業用地における立地企業数	45社	60社

【重要業績評価指標】

施策の進捗や成果をはかるための指標を示します。

個別戦略一覧

- 1 活力みなぎる『しごとづくり』
- 2 選ばれ集う『ひとの流れづくり』
- 3 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』
- 4 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

序論
基本構想
1 子育て・教育
2 産業
3 安全・安心
4 健康・医療・福祉
5 文化・スポーツ・共生
6 にぎわい
7 環境
8 都市基盤
戦略
附属資料

個別戦略

1 活力みなぎる『しごとづくり』

地域の力を結集し、地域産業の活性化に向け、魅力的な働く場の創出や新たな投資を生み出す好循環を確立します。

数値目標	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
新規創業者数（累計）	972人	2,400人
女性就業者数	50,899人	57,000人

特に注力！

✓豊橋で“若者”や“女性”が働きたくなる仕事の創出

人を呼び込むためには、生活の基盤となる仕事が必要です。新しい生活様式に適応した働き方の導入や魅力的な働く場の創出に、官民が一体となり取り組むとともに、キャリア教育等により若者や女性へその魅力を伝えるなど、自らの理想の仕事を本市で実現することができる環境づくりを進めます。

✓豊橋が誇る技術の伝承と新しい技術の導入

本市には、これまで培ってきた産業技術があります。豊橋が誇る技術を守りつつも、これまでにない新しい技術の良い部分を取り入れ、時代に適応した地域産業の活性化を図ります。

施策の基本方針

1. 人材力の強化と事業承継への支援

全国有数の産出額を誇る農業や高い技術力を持つものづくり企業など、地域特性を生かした産業の活性化を担う人材の育成と、これらの産業の成長を一層促すための地域外人材の知見等を積極的に活用するとともに、これまで地域に蓄積された技術・ノウハウなどの経営資源が承継できる環境づくりを支援します。

2. 新ビジネスの創出と経営革新

大学の研究シーズや企業が有するノウハウ等を連携させてイノベーションを誘発するとともに、そこから新たなビジネスが創出されるよう支援します。また、地域の中堅・中小企業による生産性向上に資する取り組みを促進するほか、企業BCP対策や健康経営の取り組みを支援します。

3. 産業の魅力発信と誘致

産業用地や道路、港湾などの産業基盤の整備を進めるとともに、積極的な企業誘致活動を行います。また、若者や女性などの多様な人材がさまざまな産業で活躍できる雇用機会を創出するとともに、その魅力を発信します。

重要業績評価指標（KPI）	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
就職支援を行った若年者の数	538人	1,000人
新たなビジネスモデル創出に関する事業への参加者数	13,548人	15,000人
産業用地における立地企業数	45社	60社

個別戦略

2 選ばれ集う『ひとの流れづくり』

仕事や暮らしの魅力をまち全体で育むとともに広く発信し、地域内外の多様な人たちが選び集うまちを形成します。

数値目標	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
首都圏からの転入超過数	-674人	0人
休日における滞在人口率	0.98倍	1.1倍

特に注力！

✓若い世代を惹きつけるまちの魅力創造

大都市圏への若い世代の流出防止は喫緊の課題です。本市に暮らす若者が、ずっと豊橋で暮らしたい、また豊橋に戻ってきたい、と思えるよう、夢や希望に向かって挑戦することができる環境を整えます。

✓まちなかエリアへの人の呼び込み

人を惹きつけるまちには、人々が多く行き交うエリアが存在します。豊橋駅周辺を中心市街地において、豊橋らしい魅力をもって人を惹きつけ、集い、交流することのできる機能を集積し、新たなにぎわいを創出します。

施策の基本方針

1. 定住都市の推進

チャレンジを望む若い世代など多様な人々の価値観が受容され、バックアップを受けながら活躍することのできる環境を整えます。また、ふるさと教育等により豊橋への誇りと愛着の醸成を図ります。

2. 交流・関係人口の拡大

スポーツや芸術文化など動員力の高いコンテンツのほか、地元グルメやロケ地など多彩な地域資源を生かしたプロモーションを積極的に行い、本市への誘致・誘客につなげます。また、本市に関心がある市外の方との継続的な関わりを生み出すための取り組みを進めます。

3. 移住の促進

大都市圏に向けて、東三河地域のコンテンツを活用しながら、本市の仕事と暮らしの魅力を一体的に発信するとともに、起業や就職、転職を契機としたUIJターンを希望する人を支える仕組みづくりを地域全体で進めます。

重要業績評価指標 (KPI)	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
若者（15～24歳）の人口	40,130人	40,600人
市内宿泊施設への宿泊者数	758,996人	760,000人
本市HPの移住関連情報ページアクセス数	1,439件	10,000件

個別戦略

3 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』

結婚、出産、子育てへの希望を社会全体でかなえるとともに、一人ひとりにあわせた質の高い教育を充実します。

数値目標	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
合計特殊出生率	1.47	1.65
婚姻数	1,730件	1,800件

特に注力！

✓子育てと仕事を両立できる環境づくり

共働き家庭等が増える中、子育てと仕事を両立するための環境が十分に整っていないことが、合計特殊出生率が低下する要因の一つとなっています。地域や企業などと連携し、男女がともに仕事を続けながら子育てできる仕組みづくりや、復職のしやすい環境整備を進めます。

✓子どもたちの「学びたい」をかなえるための環境づくり

子どもたちの物事に対する興味関心や学習意欲は、豊かな学びと育ちのための重要な要素です。子どもたちの「学びたい」という気持ちを引き出すとともに、それに応える環境を整えます。

施策の基本方針

1. 結婚から出産、子育てまでの包括的支援

結婚を希望する方の思いをかなえるための取り組みを行うとともに、ライフステージに応じた最適な支援や経済的負担の軽減を行い、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりを進めます。

2. 働きながら子育てできる環境づくり

企業や関係機関と協力し、働き方改革の推進や子育て中の方が働きやすい職場づくりを支援するとともに、地域における子育て支援拠点等を活用し、子育ての負担を軽減するための取り組みを進めます。

3. 質の高い教育

外部人材の活用による専門性を生かした授業づくりや ICT を活用した教育など、質の高い教育を推進することで、自分の力を最大限に発揮して活躍できる人材を育成します。

重要業績評価指標 (KPI)	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
子育てを楽しんでいる保護者の割合	35.5%	45%
保育所・認定こども園における待機児童数	0人	0人
学校で子どもたちの確かな学力が育まれていると感じている保護者の割合	—*14	維持 (92%)

*14) 参考：2020年度の保護者アンケート集計値=91.8%

個別戦略

4 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

社会基盤の整備と再編による、環境に配慮した効率的な都市経営を行うとともに、暮らし続けたいくなる安心で住みよいまちを形成します。

数値目標	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
居住誘導区域内人口の割合	70.5%	72%
生活環境に十分満足している人の割合	42.5%	50%

特に注力！

✓ 利便性の高い移動環境の創出

暮らしやすくまとまりのあるまちづくりには、市内の拠点を快適に移動できることが必要です。自家用車に過度に頼ることなく、誰もが不自由なく生活ができるよう、安全で快適に利用できる移動環境を整えます。

✓ 再生可能エネルギー利用 100%のまちづくり

私たちの暮らしを持続可能なものとするためには、限りある資源の有効活用が必要です。エネルギー消費を抑制するとともに、再生可能エネルギーの利用を促し、環境に配慮したまちづくりを進めます。

施策の基本方針

1. 便利で快適に暮らせるまちの形成

居住誘導並びに都市機能の集積と、利便性の高い公共交通ネットワークの形成による、まとまりのある暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、美しい景観や居住心地が良く歩きたくなる空間をつくります。

2. 既存ストックの有効活用

官民連携のもと、民間施設などの既存ストックを効果的に活用することにより都市機能を維持するとともに、余剰となった民間資産の利活用を促進することで、地域の活性化を図ります。

3. 暮らしの安全・安心の確保

医療や福祉サービス、交通安全対策など、さまざまな分野で ICT 等を活用し、市民の心身の安全・安心を確保するとともに、大規模自然災害や感染症まん延などの危機発生時においても都市機能を維持できる、強靱で回復力のあるまちづくりを進めます。

4. 自立循環型社会の形成

再生可能エネルギーの導入拡大とエネルギーの地産地消など地域資源の有効活用を進め、環境・経済・社会が総合的に循環した地球環境にやさしいまちづくりを進めます。

重要業績評価指標 (KPI)	現況値 【2019年度】	目標値 【2025年度】
公共交通の1日当たり利用者数	82千人	維持
豊橋警察署管内の刑法犯罪発生件数	2,178件	1,700件
再生可能エネルギー施設の設置容量	243,153kw	491,600kw